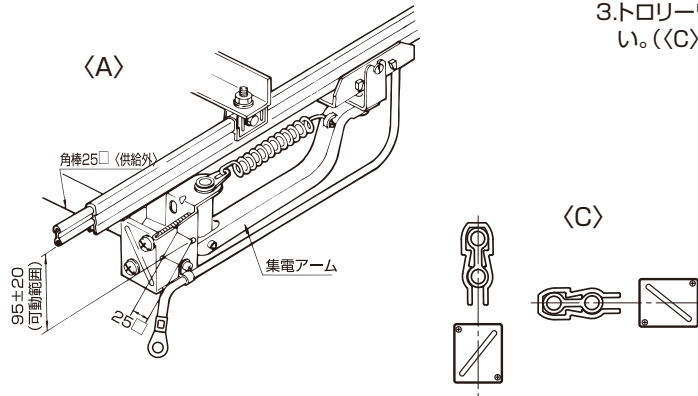


7 集電アームを取り付ける

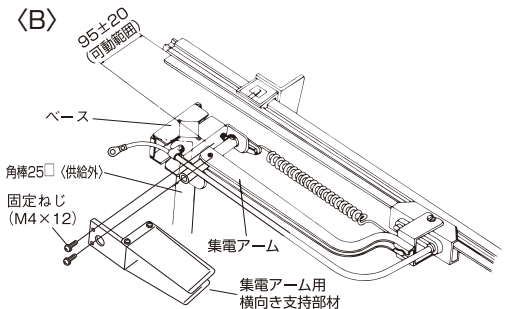
■標準取り付け

- 1.トロリーワイヤの導体下面から取付角棒まで95mm (集電アームの許容可動範囲<押し付け方向> 95 ± 20 mmの中心値)としてください。(〈A〉図参照)
- 2.トロリーワイヤ本体と集電アーム(取付角棒)との中心を合わせてください。(〈C〉図参照)



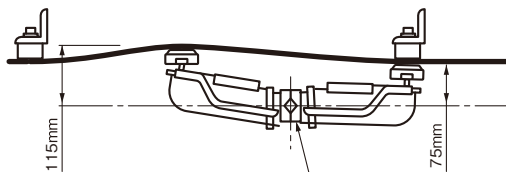
■本体開口部横向きの場合の取り付け

- 1.図のように、集電アーム用横向き支持部材を集電アームのベースに取り付ける。(固定ねじ締め付けトルク:0.98N・m~1.32N・m)
- 2.トロリーワイヤの導体摺動面から集電アームの取付角棒まで95mm(集電アームの許容可動範囲<押し付け方向> 95 ± 20 mmの中心値)としてください(〈B〉図参照)。
- 3.トロリーワイヤ本体と集電アーム(取付角棒)との中心を合わせてください。(〈C〉図参照)



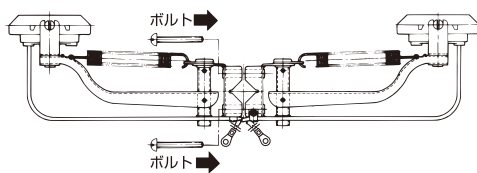
使用可動範囲

取付角棒を基準としてトロリーワイヤ本体からの範囲が75~115mm間であれば安定した給電が可能です。
トロリーワイヤ本体から集電アーム(取付角棒の位置)の稼働距離は、ハンガー間中心部:75mm以上(最小)115mm以下(最大)としてください。

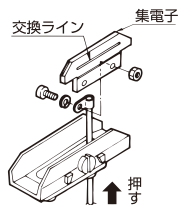


■タンデム型の取り付け

タンデム型で使用される時は、2コの集電アームを図のように組み立てる。



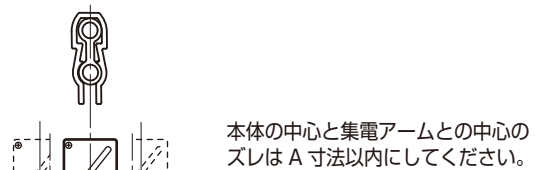
■集電子の交換



⚠ 注意

必ず守る

集電子は交換ラインまで摩耗したら取り換える
スパークによる火災、接触不良、集電アームの脱線などのおそれがあります。
取付寸法を確実に守って取り付けてください。
接触不良、集電アームの脱線などのおそれがあります。
取付後、ハンガー・トロリーワイヤ・集電アームが水平になっているかもう一度ご確認ください。横向きの場合は、集電アーム用横向き支持部材を必ず使用する
守らないと、接触不良・集電アームの脱線などのおそれがあります。
本体の中心と集電アームの中心はA寸法以内に取付ける

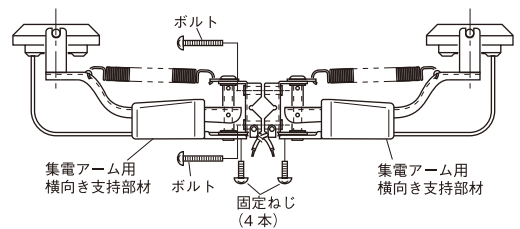


本体の中心と集電アームとの中心のズレはA寸法以内にしてください。

使用可動範囲A寸法
(本体の中心と集電アームとの中心までの距離)

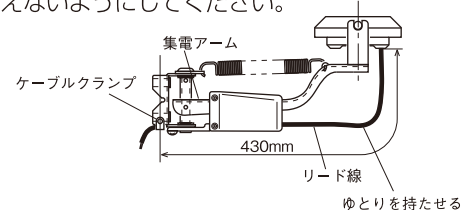
集電アーム用横向き支持部材を使用しない場合	15mm
集電アーム用横向き支持部材を使用した場合	5mm

■タンデム型での横向きの組立



■リード線のクランプ

リード線にたるみ(リード線固定位置の目安は集電子の根元より430mm)をもたせ、集電子の走行に影響を与えないようにしてください。



8 トロリーワイヤの曲げ加工

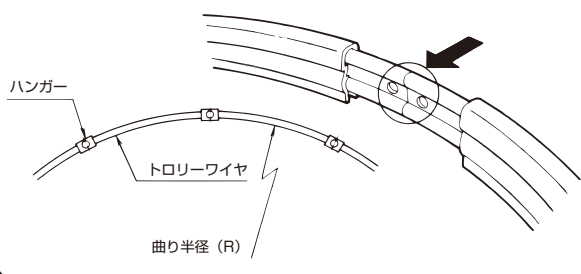
曲がり半径 (R) が1m以上の場合は、現場で、ハンガーに合わせてトロリーワイヤをはさみ込むだけで、簡単に曲げ加工ができます。

ご注意

- 曲がり半径1m未満の場合は工場加工となりますので、弊社へご相談ください。

集電アーム定格	最小半径R(mm)
30A	800
60A	1200
100A	2400

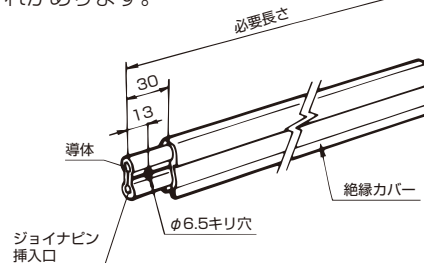
- 角が立たないように注意してください。
接触不良のおそれがあります。



9 トロリーワイヤの切断加工

■90A・300Aの場合

ジョイナピンのない方で切断し、ジョイナピン挿入口は“かえり”などがないようにヤスリで仕上げてください。接触不良のおそれがあります。

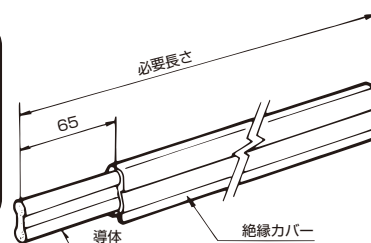


■500Aの場合

エンドキャップを使用する端末部のみでの加工となります。

ご注意

- ジョイナ部などにおける接続部での本体切断加工は出来ません。図はエンドキャップ取付の500Aの場合のものを使用してください。



10 エキスパンションを取り付ける

■90A・300Aの場合

90Aは50mに1本、300Aは30mに1本ご使用ください。本体の熱伸縮を吸収するために必ず取り付けてください。接触不良、集電アームの脱線などのおそれがあります。

■500Aの場合

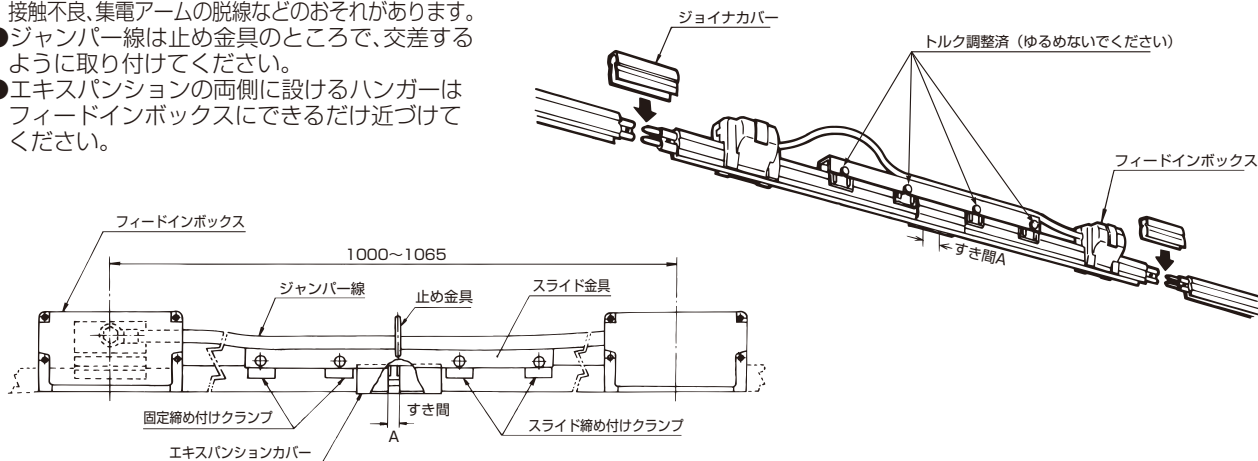
- トロリーワイヤとの接続は、フィードインボックスで行ってください。
- スキ間設定寸法は90A・300Aと同じです。
- 30mに1本の割合で使用してください。本体の熱伸縮を吸収するために必ず取り付けてください。接触不良、集電アームの脱線などのおそれがあります。
- ジャンパー線は止め金具のところ、交差するように取り付けてください。
- エキスパンションの両側に設けるハンガーはフィードインボックスにできるだけ近づけてください。

ご注意

- スキ間(A)寸法は下表の通りセットしてください。

布設時の周囲温度	スキ間(A)寸法 (mm)
10℃	25
20℃	19
30℃	13

- エキスパンションのボルト類は調整済みです。ゆるめないでください。

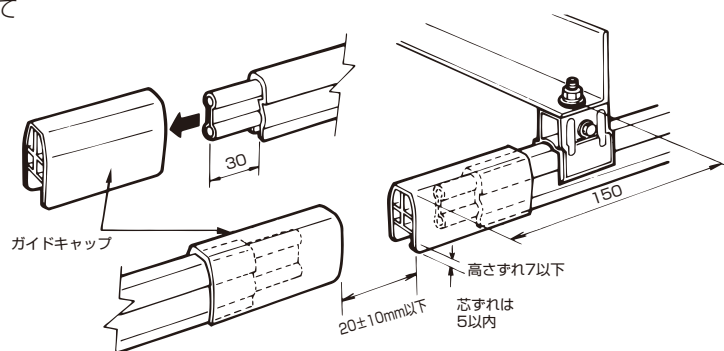


11 ガイドキャップを取り付ける

ガイドキャップは、導体に差し込んで取り付けます。ガイド相互の位置関係およびハンガーの取付は図のようにしてください。

ご注意

- 500Aの場合、ガイドキャップは取り付けできません。
- ターンテーブルやポイントなどのある系統で、トロリーワイヤを途中で切って使用する場合にガイドキャップを右図のように使用しますが、複雑な使用法の場合や走行スピードが60m/minより速くなる場合、当社へお問い合わせください。
接触不良・集電アームの脱線などのおそれがあります。

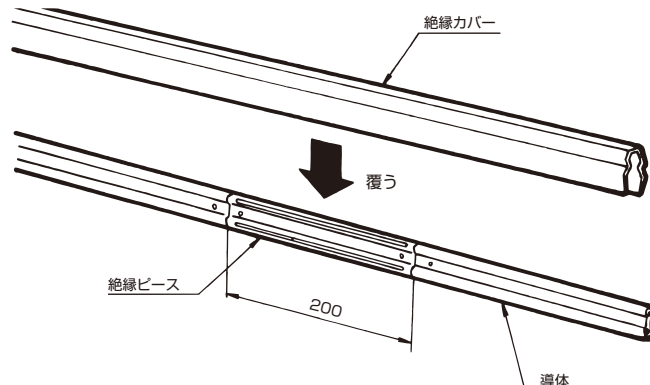


12 絶縁ピースを取り付ける

トロリーワイヤの接続と同様に専用の工具で接続する。トロリーワイヤの導体のみ引き出し、絶縁ピース取付位置でトロリーワイヤの導体を200mm切断して絶縁ピースを取り付けた後、絶縁カバーで再び覆う。

ご注意

- 500Aの場合、絶縁ピースは取付できません。
- 曲がり部では使用できません。



13 導体クリーナーを取り付ける

トロリーワイヤの導体下面から集電アーム取付用角棒（供給外）の中心までは 95 ± 20 mmとしてください。

ご注意

- 導体クリーナーはトロリーワイヤ本体と平行に、かつ、ねじれないように取り付けてください。

クリーニング終了後は、導体クリーナーを取り外すか、または調整ねじを締め付け、導体にブラシ部が接触しないようにしてください。

